



春日 隆司 議員

高齢者生活支援施設整備について前進がない
高齢者生活支援施設整備について前進がない
これから見出していく

高齢者生活支援施設
の必要性

【質問】 高齢者等の福祉増進と流出人口対策から、施設整備の必要性がある。

【町長】 今後の高齢者数や支援が必要な対象者の動向、既存の施設やサービスとの関係性などを勘案しながら検討していきたい。

【再質問】 平成27年12月に質問された事案。必要性は十分感じているとの答弁だったが前進がない。流出する人達、関係機関からも要請、要望もある。政策を早期に確立してほしい。

【町長】 財源確保が必要であり、最良の方法をこれから見出していかねばならない。在宅の方との公平性の検討も必要。福祉施設が多く担い手がない。流出は、住む場所がないからということでもない。

【再質問】 早期に方針を決め、是非、進めてほしい。

林業大学の誘致

【質問】 道が検討している「林業大学校」のその後の状況と誘致の考え方は。

【町長】 町単独での誘致にこだわらず、複数市町村との連携、サテライト方式など、様々な形態が考えられる。

多様な方向性を含めて検討を進める。

【再質問】 二十数年来、産業クラスターの取組の中で、林業担い手は極めて重要だと道にも要望、要請をしている。重要な林業の担い手、即戦力を養育する施設をなぜ現時点で単独誘致にこだわらないと言いつけるのか。

【町長】 情報収集している。政治絡みもある。基本的には様々な指導体制ができるかどうか。最良の方法で選択肢を見出し要請・要望活動を進める。

【再質問】 道は白紙の状態。森林・林業の先進的モデル

下川から北海道、そして全国に発信をしていく。町単独誘致にこだわらないというところを訂正する考えはないか。

【町長】 行政判断、政治判断というのは非常に難しい。誤った方向で発進していくと取り返しがつかない。少し慎重に進めたい。

【再質問】 単独誘致にこだわらないという誤ったメッセージを送ることになる。町は森林林業の旗を高くあげている。産業クラスターに関わりがなかったので本質的なところを承知されていないが、行政の継続性、町の現況を踏まえ、主体性をもって誘致することを願っていたい。

評価を条例に基づき適切に行われているか。

【町長】 推進会議、町民会議、評議委員会設置を条例に位置付け、役割に基づき開催することとしている。

【再質問】 3回同じ質問をしている。一向に条例に基づく手続きが取られていない。段階で課題等が解決される。司法判断なので一概に言えないが行政行為の瑕疵がある場合、無効な行政行為との事項もある。手続きを重んじることが重要である。

【町長】 政治とは有権者の声を聞いて行政施策に反映していくもの。環境未来の諸会議は滞っていたが、しっかりと議論したい。

【再質問】 条例の手続きを踏むことが有権者の意見を反映していくこと。

環境未来都市の推進と評価

【質問】 環境未来都市推進と